

難民ウィーク

Refugee
Week



世界的な難民、移民のための
アートフェスティバル

難民ウィークを
日本全国で開催！

2025

6.16 | 月 | — 22 | 日 |

難民ウィーク・カンファレンス 7.13 | 日 |

Refugee
Week
Japan

これまで世界17カ国で開催されてきた、27年間の歴史をもつ 難民ウィーク(Refugee Week)が、今年初めて日本で開催されます！

難民ウィークとは…「Refugee Week」は、1998年にロンドン(イギリス)で設立され、難民や避難を求める人々の貢献や創造性を祝う、世界最大の芸術・文化フェスティバルです。毎年6月20日の「World Refugee Day(世界難民の日)」に合わせて行われます。移民や難民をルーツに持つ人々が新たな地に辿り着いた経緯や歴史、またオリジナルの文化を尊重し、アートや演劇、映像を通じてお祝いします。



イラスト: クラーク志織

TOKYO

多文化を味わう・語る・つなげる 食べる会、トークセッション、交流会

6月22日|日| FabCafe 1F・2F

時間: 11:00-15:00(開場10:45)

会場: 渋谷区道玄坂1丁目22-7 道玄坂ピア

ご予約: FabCafe TokyoのPeatixにて(参加費有料) 定員: 25名程度

主催: 池上 朋(キュレーター)、エリック・シュウ(アーティスト) 協力: FabCafe Tokyo

世界各國の料理を通じて交流するイベントを、世界13か所に拠点を持つクリエイティブ・コミュニティハブ「FabCafe Tokyo」で開催します。香港やウクライナなど、様々な国をルーツにもつ人々による料理と一緒に食べながらおしゃべりをし、その後トークセッションを行います。



Peatix

SAITAMA

トークイベント: 丸木美術館で「移民・難民と美術」を考える

6月21日|土| 原爆の図 丸木美術館

時間: 14:00-15:30 会場: 埼玉県東松山市下唐子1401

登壇者: 山本浩貴(文化研究者、実践女子大学准教授)、

吉國元(美術家)、池上朋(キュレーター)

定員: 70名(事前予約不要、当日先着順)

参加費: 1000円(別途入館料)

企画: 池上朋、関町卓朗(原爆の図丸木美術館学芸員)

主催: 公益財団法人原爆の図丸木美術館

GUNMA

難民ウィークブックセレクション

6月10日|火|-7月13日|日|

前橋市立図書館、前橋こども図書館

会場: 前橋市立図書館(群馬県前橋市大手町二丁目12-9)

前橋こども図書館(群馬県前橋市本町二丁目12-1 前橋プラザ元気21 2階)

移民や難民にまつわる書籍をセレクトした、特設コーナーを設置します。

主催: 前橋市立図書館

YAMAGUCHI

映画上映、ポッドキャスト

6月16日|月|~

山口情報芸術センター[YCAM]

会場: 山口県山口市中国町7-7

YCAMでは難民ウィークの趣旨に賛同し、この1週間を通して、難民問題に関連する多様な側面に光を当てるプログラムを展開していきます。

【映画上映】『私は憎まない』I Shall Not Hate (2024年/カナダ・フランス/92分/ドキュメンタリー) 日時: 6月18日(水)-22日(日)

【ポッドキャスト:ぐるぐるラジオ】日時: 6月16日(月)より3話連続配信予定。

※詳しくはYCAMのホームページをご覧ください。

主催: 山口情報芸術センター[YCAM]

カンファレンス「日本におけるRefugee Weekの可能性」

7.13|日| 13:30-16:30(予定) ※カンファレンスの後、交流会を予定

黄金町エリアマネジメントセンター 高架下スタジオSite-D集会場

世界の難民ウィークを組織する、カウンターポイント・アーツ代表のコレジッチ氏とRefugee Weekプロデューサーのディフェンス氏をイギリスからお招きし、日本において移民・難民に関わる活動や研究を行う方々と共に、今後日本における難民ウィークの可能性について話し合います。



アルミア・コレジッチ
Almir Koldiz

Counterpoints Arts カウンターポイント・アーツ代表。カウンターポイント・アーツを2012年に立ち上げ、芸術と難民のための創造的な戦略と、移住、多様性、社会正義に関連する幅広いコミュニケーションやプログラムを実施している。



ララ・ディフェンス
Lara Deffense

Counterpoints Arts カウンターポイント・アーツプロデューサー。これまでバービカンセンター、テート美術館などで大規模な地域主導型フェスティバルの企画・運営や制作を経験し、現在はイギリスの「難民週間(Refugee Week UK)」のコーディネーターを務める。



高谷幸
Sachi Takaya

東京大学大学院人文社会系研究科教員。社会学者。日本をフィールドに、移民(主に非正規移民、移民女性)、移民の権利運動、移民政策などを研究している。難民・移民フェス実行委員会のメンバーでもある。



金仁淑 キム・インスク
KIM Insook

アーティスト。移民や地域コミュニティの人々とアートプロジェクトを行い、その過程を共有するプラットフォームとしてインスタレーションを発表している。第48回木村伊兵衛写真賞、令和6年度(第75回)文部科学大臣芸術選奨新人賞などを受賞。



サシャ・カヴェリーナ
Sasha Kaverina

パートナーシップ at Le Wagon Tokyo。「スタンド・ウィズ・ウクライナ・ジャパン」の共同創設者で、ウクライナ文化の普及や平和的なデモ、チャリティイベントを通じてウクライナを支援している。



イベントの詳細はこちらから
instagram @refugeeweekjapan

お問い合わせ先: email. refugeeweekjapan@gmail.com

主催: Refugee Week実行委員会

助成: 公益財団法人 小笠原敏晶記念財団、グレートブリテン・ササカワ財団

協力: Counterpoints Arts



公益財団法人
小笠原敏晶記念財団



The Great Britain
SASAKAWA
FOUNDATION
グレートブリテン・ササカワ財団